

整備士の採用、転職支援

ゼアーウインスリーサービス

マッチングサイト立ち上げ

タイヤパンク保証などを手掛けるゼアーウインスリーサービス（前澤周平社長、東京都港区）は、自動車整備士や車体整備士専門の人材紹介サービスサイト「整備士サイト」を立ち上げた。整備士を採用したい整備工場と整備士として働きたい人をマッチングすることで、整備工場の人手不足改善や整備士の転職支援につなげる。9月から埼玉県と愛知県で試験的に実施しており、今後は対象地域の拡大を予定する。

求人、求職側ともに気軽に登録してもらおうと、企業の登録料と月額手数料は不要とし、求職者がサイト上で登録する個人情報も名前、メールアドレス、電話番号のみとした。他社に採用情報が流出するのを防ぐため、求人は転職を希望する整備士と同社の間でのみ公開している。

完全成果報酬型で、マッチングが成立した場合は入社後に支給が想定される年収の約25%を採用企業が同社に利用料金として支払う。整備事業者の負担軽減のため、利用料金は低めに設定した。入社後短期間で離職した場合は在職日数に応じて利用料金を返金する制度になっている。同社によると、企業、整備士の登録数はともに増加しており、登録整備士の中には整備士としてのスキル向上に意欲的な人が目立つという。

同社が力を入れているのは人材コーディネーターによる求人企業と求職者に対するヒアリングだ。企業にはどのような人材を採用したいか詳しく聞き取り、求職者には入社後に希望する業務や整備士資

格の有無などを確認する。営業部の春日希久枝さんは「その企業に合った人材を紹介し、求職者が安心して会社に飛び込めるようにしたい」と話す。

すでにマッチングが成立した事例の中には、整備士の資格を持っていない20代男性を紹介したケースもあるといい、「若い人を採用して育てる。資格を持っていないが整備士として働きたいと強く考

えている人は積極的に登録してほしい」（同）と呼び掛ける。今後は、北関東や近畿へのサービス拡大を検討してお

り、将来的には全国への展開を予定している。同社では、板金修理を必要とするユーザーを板金事業者に送客するサービス「板金セレクト」なども手掛けており、各種サービスを通じて整備工場の経営支援につなげていきたい考えだ。